

平成21年11月26日

2009年台湾・高雄食品展覧会 超低温刺身マグロの人気高まる !

去る11月5日から8日まで、台湾・高雄市のアリーナドームで、食品展覧会が開催され、6万人の市民で賑わった。

台湾マグロ延縄業界（台湾鮪延縄同業公会）は、高雄市の支援を受け、「超低温マグロ・ゾーン」を設置。高雄市海洋局作成のパンフレット「超低温マグロの全て」や、ギフト（特製保冷バッグ）を配布する等、精力的に台湾産超低温マグロをPRした。

また、生産者もゾーンに6店舗を開設し、超低温刺身マグロ（サク）を超低価格で販売。多くの市民が集まり、約3トン売り上げた。売り上げは、低価格販売であったにもかかわらず、今年の4倍 約60万元に達した。

台湾の超低温刺身まぐろの主な輸出先である日本の刺身市場が近年低迷していることから、対策の一環として、高雄市と業界が協力して、食品展で「超低温マグロ・ゾーン」を設け、台湾国内の刺身マグロ市場の拡大を図ることにしたが、「ゾーン」は連日、市民で賑わい、狙いは成功した。

同業公会関係者は、「刺身マグロについて一般市民の興味と関心が急速に高まっていることを実感し、感激。この数年間、超低温刺身マグロの美味さを、懸命に市民に訴えかけてきたが、やっと実った。今後、超低温刺身マグロが高雄から台湾全体に広がることを期待している」と述べている。

関係者によれば、高雄市には、マグロ漁業者が経営する刺身マグロ・寿司専門店が既に6店もでき、年内に更に3店舗増加する予定。台北にも出店の計画がある由で、台湾で、刺身・寿司マグロの人气が急速に高まっている状況を反映。マグロ・ビジネスの好調さが伺われる。

(参考) 近年の台湾産超低温まぐろの日本の輸入量

平成	17年	125,000トン
	18年	70,200トン
	19年	54,500トン

(食品展覧会の写真。報道用にご希望の方は、ご連絡ください。)

(問合せ先) OPRT (社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
田端 人見

TEL : 03-3568-6388

FAX : 03-3568-6389